第43回　明治大学人文科学研究所　公開文化講座

『2022年度，高校地理必修化。どうする？どうなる？』

とき：2018年10月13日（土）13：00～16：00

ところ：明治大学駿河台キャンパス　グローバルフロント１F　グローバルホール

総合司会：明治大学経営学部教授　中澤高志

第1部：公演　13:00～14:45

筑波大学　井田仁康先生

『「地理総合」とはどのような科目か？その設立の背景と特性』

文部科学省　国立教育政策研究所教育課程研究センター　濵野　清先生

『「地理総合」に何を求めるのか？その改訂学習指導要領における位置付け』

神戸大学付属中学　高木　優先生

『「地理総合」をどのように実践したのか？神戸大学附属中等教育学校の取り組みから』

第2部：ディスカッション・質疑　15:00～16:00

趣旨

2022年度から，高校において「地理総合」が必修化されます．「地理」＝「暗記物」という通り相場とは裏腹に，「地理総合」では地図や地理情報システムを活用した「主体的・対話的で深い学び」が求められます．地理を専門とする地歴科教員が少ない現状を見るに，歴史や公民を専門とする教員が「地理総合」を担当する状況が多々発生し，教育の現場に混乱が起こることが予想されます．地理を専門とする教員であっても，「主体的・対話的で深い学び」を求めての不安な手探りを余儀なくされるでしょう．

本公開講座は，地理教育研究者，教育政策担当者，現場の教員，という立場の異なる講師をお招きし，「地理総合」とはどのような科目であり，何を目的としており，どう実践したらいいのかを論じていただくことで，「地理総合」に対する理解を深めることを目的としています．現場の高校教員，地理学および地理教育の研究者はもとより，学生時代に地理が好きだった（あるいは地理に苦しめられた）一般の方々のご来場もお待ちしております．

事前申し込み不要，入場無料です．

お問い合わせ：nkzw23@meiji.ac.jp（中澤高志）